

第 3 章

利用者の操作について

この章では、利用者の準備作業について説明します。

電子証明書方式で法人 IB サービスをご利用になる場合は、電子証明書を取得する必要があります。

電子証明書の取得後は、内容を確認し、電子証明書方式で法人 IB サービスにログオンしてください。正常にログオンできない場合は、すみやかに管理者に連絡してください。

- ・ 取得可能な期間
電子証明書の取得は、管理者から各種番号の通知を受けた後、すみやかに行ってください。
管理者が電子証明書を発行してから約 80 日を経過すると、電子証明書の取得ができなくなります。
- ・ パソコン・ユーザーごとに取得
電子証明書は、パソコンごと/Windows ユーザーごとに設定されます。
このため、電子証明書の取得は、法人 IB サービスをご利用になるパソコンから、ご利用になるユーザーで Windows にログオンして行ってください。他のパソコン/ユーザーではご利用になれません。
- ・ 取得に必要な番号
利用者が電子証明書を取得するためには、管理者より通知される以下の番号が必要になります。
 - 利用者番号（ご契約先 ID）
 - 利用者 ID
 - 利用者暗証番号 ※
 - 利用者確認暗証番号 ※

※ 新規登録時、管理者が暗証番号を設定しなされた場合に該当します。

補足

- ◆ 初回ログオン時/再発行時に必要
電子証明書の取得は、初回ご利用時以外にも、電子証明書の有効期限切れや紛失などによる電子証明書の再発行後にも必要になります。
- ◆ 電子証明書の有効期限は、取得日から 1 年です（有効期限が切れる 30 日前から更新が可能です）。

3.1 利用者の電子証明書の取得

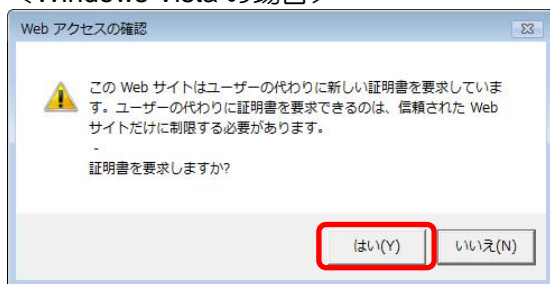
(1) 電子証明書の取得操作



※ この画面は参考画面です。



< Windows Vista の場合 >



< Windows 2000、XP の場合 >



① 当金庫の法人インターネットバンキングのトップページを開きます。

② 「電子証明書方式」の「電子証明書取得」をクリックします。

⇒ 「電子証明書発行 発行情報入力」画面が表示されます。

③ 「利用者番号(ご契約先 ID)」「利用者 ID」「利用者暗証番号」「利用者確認暗証番号」を入力します。

※ ソフトウェアキーボードを使用する場合は、「ソフトウェアキーボードを開く」をクリックします。

④ 入力が完了したら、「発行」をクリックします。

⇒ ダイアログが表示されます。

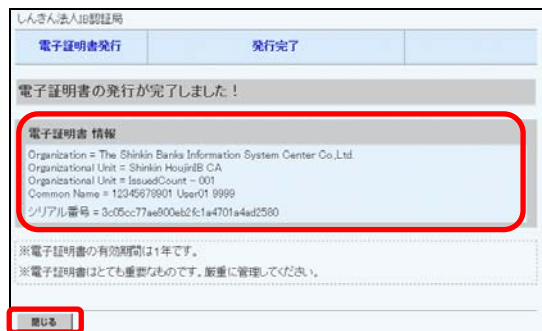
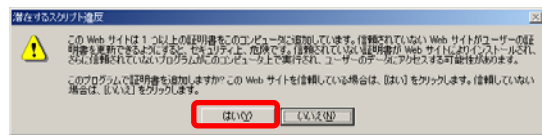
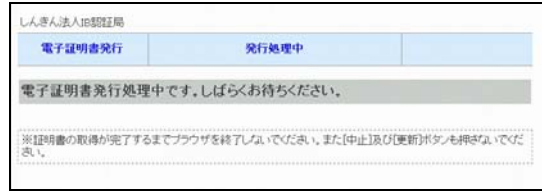
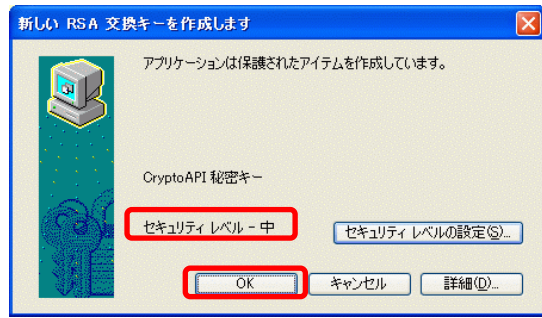
※ 入力値をクリアする場合は、「クリア」をクリックします。

※ 電子証明書の取得を中止する場合は、「閉じる」をクリックします。

⑤ 「はい」をクリックします。

⇒ 「新しい RSA 交換キーを作成します」ダイアログが表示されます。

※ 「いいえ」をクリックした場合は、処理が中断され、電子証明書の発行が中止されます。ブラウザをいったん閉じ、手順①から操作し直してください。



⑥ セキュリティレベルが「中」であることを確認し、**OK**をクリックします。

⇒ 「電子証明書発行 発行処理中」画面が表示され、電子証明書の発行処理が始まります。しばらくすると、「潜在するスクリプト違反」ダイアログが表示されます。

※ 発行処理中にブラウザを閉じたり、ブラウザの [中止] または [更新] をクリックしないでください。

※ 発行処理速度によっては、「電子証明書発行 発行処理中」画面が表示されない場合があります。

⑦ **はい**をクリックします。

⇒ 「電子証明書発行 発行完了」画面が表示されます。

※ **いいえ**をクリックした場合は、処理が中断され、電子証明書の発行が中止されます。

この場合は電子証明書の再発行が必要となるため、管理者に電子証明書の再発行を依頼してください。

⑧ 発行された電子証明書の内容を確認します。

※ 「電子証明書情報」の Common Name が「利用者番号 (ご契約先 ID) + 「利用者 ID」 + 当金庫の「金融機関コード」になっていることを確認します。

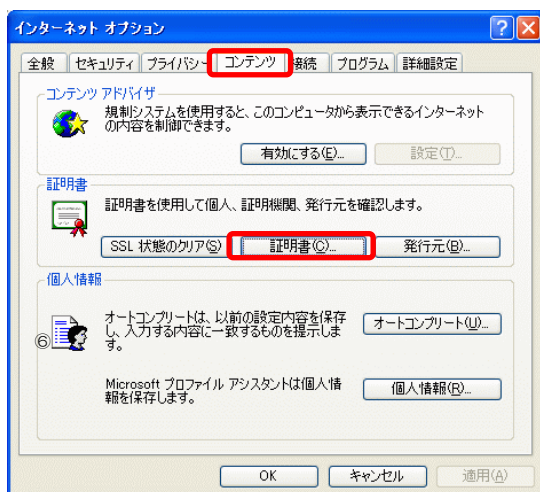
⑨ **閉じる**をクリックします。

(2) 電子証明書の設定を確認する

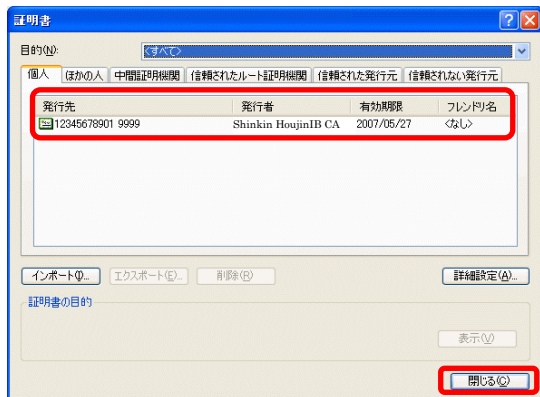
電子証明書の取得後、ご利用になるパソコンに正しく電子証明書が設定されたことを確認します。
ここでは、例として Internet Explorer 6.x (IE 6.x) の場合の手順を記載しています。



- ① ブラウザの「ツール」－「インターネットオプション」の順にクリックします。
⇒ 「インターネット オプション」画面が表示されます。



- ② 「コンテンツ」タブをクリックし、「証明書」をクリックします。
⇒ 「証明書」画面が表示され、パソコンに設定されている電子証明書の一覧が表示されます。



- ③ 「個人」タブに以下のように電子証明書が表示されることを確認します。

項目名	表示
発行先	「利用者番号（ご契約先 ID）」＋当金庫の「金融機関コード」
発行者	「Shinkin HoujinIB CA」
有効期限	電子証明書を取得した日から 1 年後の日付
フレンドリ名	<なし>

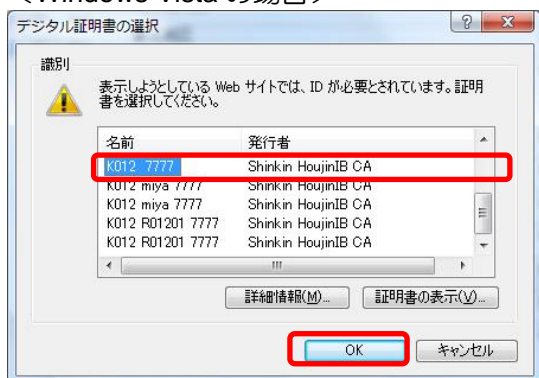
- ④ **閉じる** をクリックします。

3.2 利用者の法人 IB サービスログオン



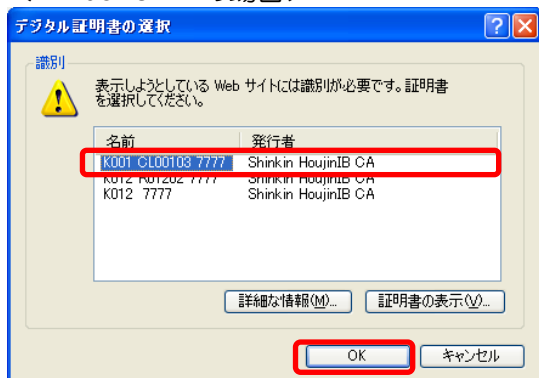
- ① 当金庫の法人インターネットバンキングのトップページを開きます。
- ② 「電子証明書方式」の「ログオン」をクリックします。
⇒ 電子証明書の選択画面が表示されます。

<Windows Vista の場合>

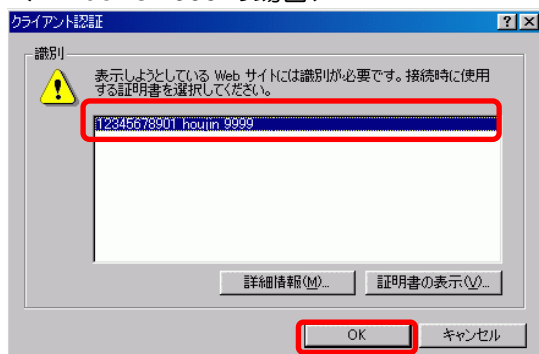


- ③ 電子証明書を選択し、「OK」をクリックします。
⇒ 「利用者ログオン」画面が表示されます。
- ※ 電子証明書の番号として、「利用者番号（ご契約先 ID）」 + 「利用者 ID」 + 「金融機関コード」が表示されています。

<Windows XP の場合>



<Windows 2000 の場合>

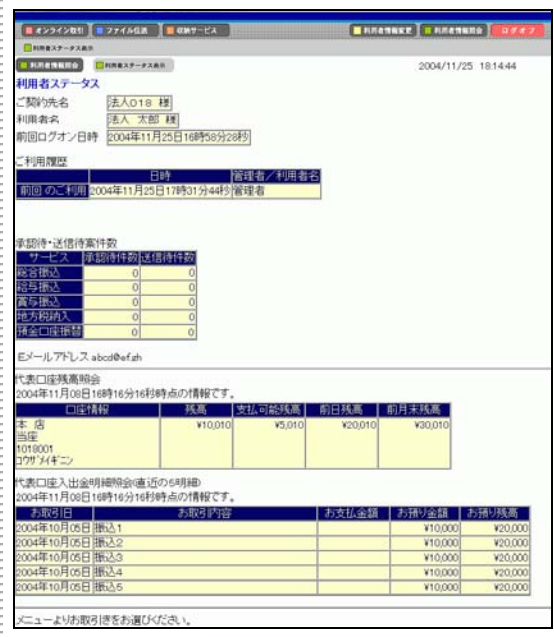




④ 「利用者暗証番号」を入力し、**ログオン**をクリックします。

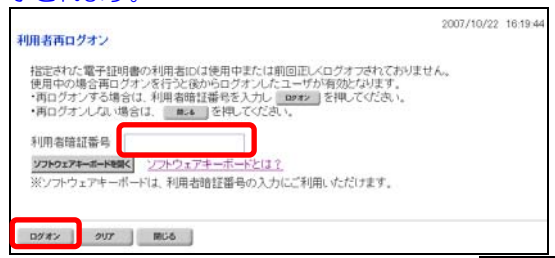
- ※ ソフトウェアキーボードを使用する場合は、**ソフトウェアキーボードを開く**をクリックします。
- ※ ログオンを取り止める場合は、**閉じる**をクリックします。
- ※ 入力値をクリアする場合は、**クリア**をクリックします。

⇒ 利用者のログオンが完了し、システムが起動します。「利用者ステータス」画面が表示されます。



補足

◆ 手順④で入力した「利用者暗証番号」で既にログオン中の場合、または前回ログオン時にブラウザを閉じてしまったなどの理由で正常ログオフされていない場合、「利用者再ログオン」画面が表示されます。



この場合は、「利用者暗証番号」を入力して**ログオン**をクリックしてください。

- ※ ソフトウェアキーボードを使用する場合は、**ソフトウェアキーボードを開く**をクリックします。

◆ 「利用者暗証番号」「利用者確認暗証番号」の有効期限は 180 日間です。設定してから 180 日を経過すると、ログオン直後の「利用者ステータス」画面に、有効期限超過のメッセージが表示されます。

利用者暗証番号と利用者確認暗証番号の有効期限が過ぎています。変更してください。

変更しなくても引き続きご利用いただけますが、セキュリティ向上のためには変更することをお勧めします。

◆ 電子証明書の有効期限は、取得後 1 年間です。有効期限の 30 日前になると、ログオン直後の「利用者ステータス」画面に、更新案内のメッセージが表示されます。

3.3 電子証明書の更新

(1) 電子証明書を更新する



① 電子証明書方式当金庫の法人インターネットバンキングのトップページを開きます。

② 電子証明書方式→**電子証明書更新**をクリックします。

⇒ 「電子証明書更新 更新実行」画面が表示されます。

※ ご利用のパソコン環境によっては、「電子証明書更新 更新実行」画面が表示される前に、ActiveX のダウンロードを促すメッセージが表示される場合があります。



③ **更新**をクリックします。

⇒ 「Digital ID の選択」ダイアログが表示されます。

※ 電子証明書の更新を中止する場合は、**閉じる**をクリックします。



④ 更新する電子証明書を選択し、**更新**をクリックします。

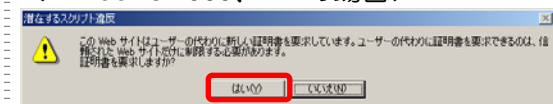
※ 更新可能な電子証明書が複数ある場合は、名前欄(「利用者番号(ご契約先 ID)」+「金融機関コード」)と期限切れ(「有効期限日」)を確認してください。

<Windows Vista の場合>

「秘密署名キーを使ってデータに署名しています」ダイアログが表示されますので、**OK**をクリックします。



<Windows 2000、XP の場合>

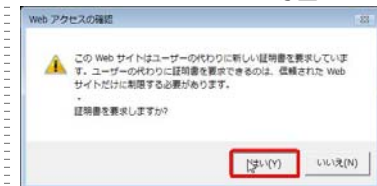


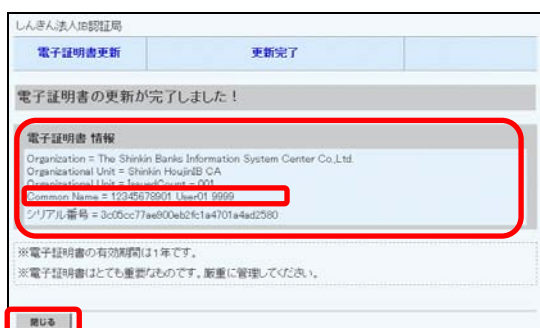
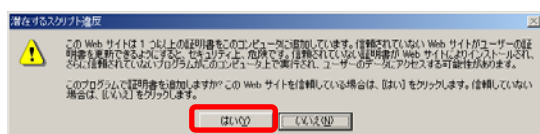
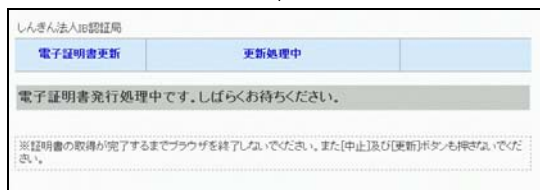
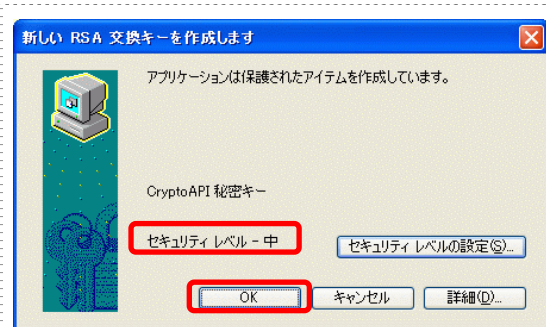
⑤ **はい**をクリックします。

⇒ 「新しい RSA 交換キーを作成します」ダイアログが表示されます。

※ **いいえ**をクリックした場合は、処理が中断され、電子証明書の更新が中止されます。ブラウザをいったん閉じ、手順①から操作し直してください。

<Windows Vista の場合>





⑥ セキュリティレベルが「中」であることを確認し、**OK**をクリックします。

⇒ 「電子証明書更新 更新処理中」画面が表示され、電子証明書の更新処理が始まります。しばらくすると、「潜在するスクリプト違反」ダイアログが表示されます。

※ 更新処理中にブラウザを閉じたり、ブラウザの**中止**または**更新**をクリックしないでください。

※ 更新処理速度によっては、「電子証明書更新 更新処理中」画面が表示されない場合があります。

⑦ 更新する場合は、**はい**をクリックします。

⇒ 「電子証明書更新 更新完了」画面が表示されます。

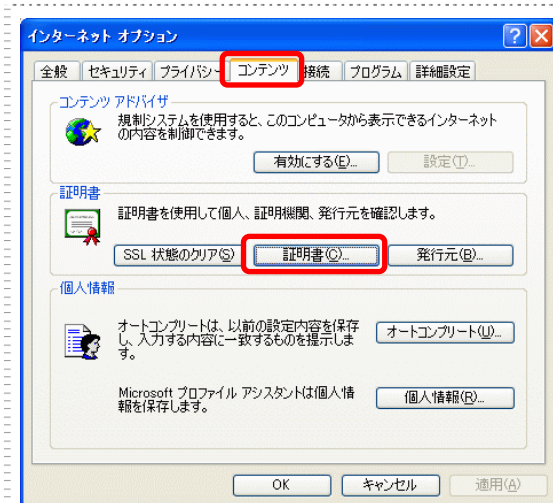
※ **いいえ**をクリックした場合は、処理が中断され、電子証明書の更新が中止されます。この場合は電子証明書の再発行が必要となるため、管理者に電子証明書の再発行を依頼してください。

⑧ 更新された電子証明書の内容を確認します。「電子証明書情報」の Common Name が「利用者番号（ご契約先 ID）」＋「利用者 ID」＋「金融機関コード」になっていることを確認します。

⑨ **閉じる**をクリックします。

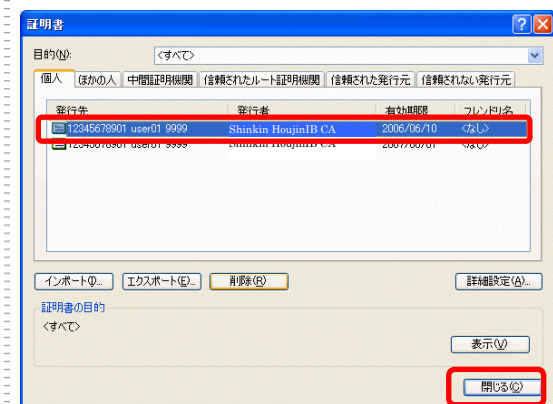
⑩ 電子証明書が登録されていることを確認します。ブラウザの「ツール」－「インターネットオプション」の順にクリックします。

⇒ 「インターネットオプション」画面が表示されます。



⑪ 「コンテンツ」タブを選択し、**証明書**をクリックします。

⇒ 「証明書」画面が表示されます。



⑫ 新しい電子証明書の有効期限を確認します。

⑬ 確認が終わったら、**閉じる**をクリックします。

引き続き、古い電子証明書を削除する必要があります。

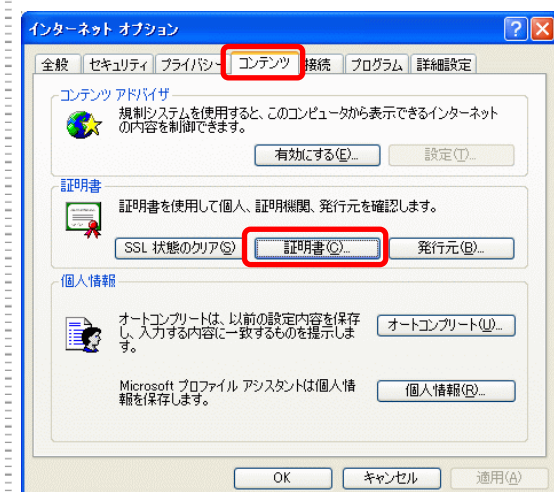
(2) 古い電子証明書を削除する

新しい電子証明書が正常に設定されたことが確認できたら、古い電子証明書を削除してください。



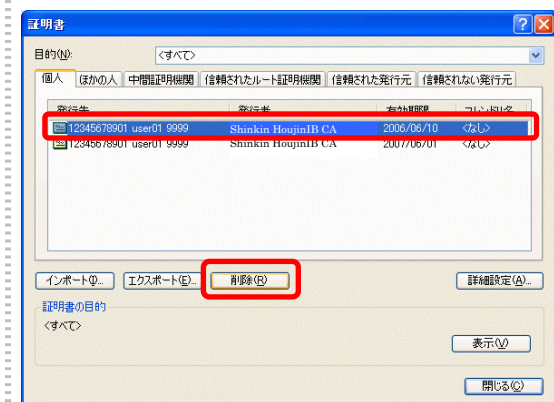
① ブラウザの「ツール」－「インターネットオプション」の順にクリックします。

⇒ 「インターネットオプション」画面が表示されます。



② 「コンテンツ」タブを選択し、「証明書」をクリックします。

⇒ 「証明書」画面が表示されます。

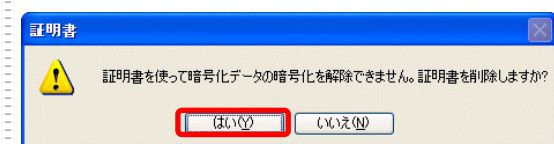


③ 削除する電子証明書を選択し、「削除」をクリックします。

⇒ 「証明書の削除確認」画面が表示されます。

※ 有効期限の日付が古い電子証明書を選択してください。

※ 誤って他の金融機関の電子証明書や更新後の電子証明書を削除しないようにご注意ください。



④ 「はい」をクリックします。

⇒ 古い証明書が削除されます。